

滋賀大学の 清水 昌平先生の 解説

今回は原因分析での データサイエンスの活用に ついて紹介します

「雨が降っている日は転びやすい」と考えたことはありませんか？ ふだん生活をしていると、雨の日でも外に出かけることはあると思います。雨でも転びにくくするにはどうしたらいいのでしょうか。こうした疑問にデータを使って解決するのが「因果推論」です。

データから原因と結果の 関係を見つける

たとえば「大きな傘をさす子どもは転びやすい」と思ったとします。でも、本当は「急いでいたから」など、違う原因があるかもしれません。そんなとき「同じように急いでいても、自分の小さな傘ならどうかな？」と考えてみます。すると本当の原因が見つかるかもしれません。目に見えるつながりだけでなく、いろいろな場面を想像して、本当の原因を見つけるときにこの「因果推論」という考え方が役に立つのです。

データサイエンスとは？

大量の情報やデータを分析して役に立つ情報を得たり、将来の予測を立てたりする研究のことです。

